革新する技術、創造する未来～夢へ翔る熊本高専～

熊本高専だより

KUMAMOTO KOSEN No.35

2023.8 夏号 SUMMER

今号のテーマ 新入生を迎えて

Contents

01 巻頭のことば
03 新入生を迎えて
05 新入生から
10 学生たちから
12 特集
13 人事異動
15 新年度を迎えて
17 諸だより
18 News & Topics

巻頭のことば

新年度を迎えて

校長　髙松　洋

令和５年度が始まりました。そして、私たちが３年以上にわたって苦しめられてきたコロナ禍と言うトンネルからようやく抜け出すことができました。新型コロナウイルス感染症の５類移行前ではありましたが、３月23日には卒業式を、４月５日には入学式を多くの保護者の皆様ご列席のもと熊本県立劇場にて挙行できましたこと、大変嬉しく思っております。５月の連休明けには両キャンパスでクラスマッチと球技大会をそれぞれ行いましたが、学生の皆さんが活き活きと楽しそうにしているのを拝見し、やっと日常が戻り、これから皆が期待している学生生活を送ってもらえると期待しています。

私自身は１年間の校長生活でやっとひととおりのことを経験し、それなりに全体のことが理解できました。これからは、教職員の皆さんの力を結集するとともに、保護者の皆様や地域の方々、企業の方々のご協力をいただきながら、学生の皆さんが本校で学んだことを誇りと思えるような熊本高専にできるよう努力してまいりたいと思います。それぞれの専門分野での教育をしっかり行うのに加え、学校としては、当面、以下の点に力を入れていくつもりです。一つは、この４年間行ってきた高専リベラルアーツ教育です。分野の枠を越えて、自分たちで様々な課題を見つけその解決策を考える能力を少しでも身につけて欲しいという思いで行っており、学生の皆さんの視野が少しでも拡がることを期待しています。二つめは半導体教育です。ご存じのように熊本では半導体産業の集積化が進み始めており、熊本高専にはその人材育成に対して多大な期待がかけられています。その期待に応えるべく、高専において様々な分野でそれぞれ学んでおくべきものは何かをしっかり考えながら教育を行ってまいります。三つめは高専のGear5.0という取り組みで行ってきたAT（Assistive Technology）という介護・福祉に関する技術開発研究教育を拡大し、様々な学科・専門の学生の皆さんが関われるようにしたいと考えています。高齢化が進む日本では極めて重要な分野であり、少しでも多くの学生の皆さんが人の立場に立ってものごとを視ることができるようになればと思います。四つめはスタートアップ教育ですが、これについては、本誌の特集部分で後述します。それ以外にも、授業記録配信システムを整備し、学生の皆さんが自分で学習しやすい環境を整備したいと計画しております。

このように、様々な取り組みを行っていきたいと考えておりますが、上述のとおり、教育には保護者の皆様をはじめ、地域の方や企業の方など多くの方々からのご支援が欠かせません。皆様のご理解とご協力を賜りますよう心からお願い申し上げます。

新入生を迎えて

熊本キャンパス奨学後援会 会長　森 川　治 雄

新入生をはじめ、留学生・専攻科生のみなさん、熊本高専へようこそ！

新型コロナウイルス感染症が猛威を振るい、この３年間、学校生活は大きな影響を受けてきました。５月になって様々な規制制約も緩和され、ようやく「日常」を取り戻しつつあります。学生のみなさんには、これまでの分も含め学校生活を充実させてほしいと思います。

さてこの春、四国に新しい「高専」が開校しました。約 20 年ぶりのことだそうです。このことに象徴されるように、産業界だけでなく社会のあらゆる分野から、「高専」という教育システムが注目を集め、そこから輩出される人材が高く評価されています。特に熊本では世界的半導体企業の進出などもあり、専門性を持った人材に対するニーズが高くなっています。

「高専」の一員となったみなさんも、クラスメイト達と共に日々の学業や研究活動に精進し、社会の期待に応える人材となってください。

奨学後援会は、高専で学ぶみなさんの活動を支え、充実した学校生活の一助となるような活動をしています。

保護者の皆様も、懇談会や学園祭などに参加いただき、学校の様子をぜひ知っていただいたうえで、御協力いただきたいと思います。

新入生を迎えて

八代キャンパス後援会 会長　藤 井　崇 浩

新入生の皆様、ご入学おめでとうございます。憧れの高専生活には、慣れましたでしょうか。ここでは、保護者の１人として新入生の皆様に学生時代に是非身につけてほしいことを、お伝えしたいと思います。

私自身歴史が好きで、洋の東西を問わず見聞しておりますが、そこで学んだことは、栄華を誇った人は衰えていくということです。藤原道長しかり、平清盛しかり。織田信長や豊臣秀吉もそうかと思います。それらの歴史に学んだのが、読書家とも知られる徳川家康ではないでしょうか。

また、野球にも興味があり、名選手・名コーチの著作を読み漁りますが、伸びていく選手の共通点として、「素直であること」を多くの指導者が挙げています。また、逆説的ですが、イチローや筒香嘉智選手は受け入れられない指導を拒絶し、自分の信じるやり方を貫きながら現在の地位を築きました。

これら「謙虚さ」「素直さ」「GRIT(やり抜く力)」はどんな学問でも、どんな職場でも必要ですし、これらを身につけていれば周囲から可愛がられながらも着実に成長していけると思います。

「実るほど頭を垂れる稲穂かな」「聞くは一時の恥、聞かぬは一生の恥」「雨垂れ石を穿つ」昔からある言葉には、人生を生きていく上での大きなヒントがあると思うのです。ぜひ学生時代に身につけ、魅力のある人間に成長していってください。

新入生を迎えて

ご入学おめでとう

教務主事（八代キャンパス）　小 田　明 範

新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。難関の入学試験を突破して入学されました皆さんに対して、あらためて敬意を表します。

コロナ禍で、昨年度まで皆さんはさまざまな負担を強いられてきたことと思います。本年、コロナが第５類に移行したことに伴い、本校の学習活動は原則としてコロナ前に戻る予定です。

皆さんが卒業し活躍する時代の社会は、従来にもまして大きな変革が起きています。この「予測不可能な時代」に貢献できる人材、それがエンジニアです。エンジニアは、誰も気づいていない問題を捉え、その解を創造し、実現することができる専門職です。大きく変化する時代に、新たな社会を創り出すエンジニアとして活躍することを、皆さんは期待されています。

学校では、座学、実験、演習等の講義はもちろん、研究活動やプロジェクト活動、部活動、ボランティア、インターンシップなど、多くの経験がそれぞれ異なる学びを創っていきます。自分たちで主体的に取り組み、自分自身の成長につなげていくことが求められます。主体的な学びによって、みなさんの学生生活が豊かなものとなるよう祈念いたします。

私たちは、新入生の皆さんが将来的に自分の人生を豊かにするために必要なスキルを身につけられるよう、全力でサポートしていきます。一緒に頑張りましょう。

新入生を迎えて

学生主事（熊本キャンパス）　縄 田　俊 則

新入生を迎えて数か月が経ちました。本科入学の皆さんは新たな学校生活に慣れた頃と思います。今回、この記事を書く機会をいただき、あらためて本科１年生と同じ年齢のとき、どのようなことをしていたか思い出してみました。私は高校の普通科に在籍し、次年度の文理選択を前に、自分の興味と現実的な選択のギャップで悩んでいた頃でした。なかなか重い悩み故に直視したくなく、そうなると現実から逃避する時間が増えました。英語の先生が紹介してくれた椎名誠の本を読み漁り、氏の「わしらは怪しい探検隊」という本に出てくる大人たちに漠然とした憧れを持ったりしていました。悩んだ末、結局は現実的な選択をし、その流れの延長で今この文章を書いています。自分の生業にはしなかった分野については、その後数十年たった今も興味が衰えることはなく趣味として付き合い続けています。また、その後の人生で出会った人たちに影響を受けながら、他にも興味を持ったものにいろいろと首を突っ込みながらここまで歩んできました。

１年生のみなさん、入学して自分の思い通りの日々を過ごしている人もいれば、ギャップに苦しんでいる人もいると思います。ですが、それぞれに自分が興味の持てるもの、周りに言われなくても勝手に知識を求める対象があると思います。学生時代は自らの興味に素直に向き合える貴重な時期です。前向きに、積極的に、自分に素直に、学校生活を楽しんでください。

新入寮生のみなさんへ

寮務主事（八代キャンパス）　宇ノ木　寛文

新入生の皆さん、改めて入学おめでとうございます。また、４月から寮生活を始めた皆さんの入寮を心から歓迎します。

寮生活は期待通り、或いは予想とは違っていましたか？寮生活の指針となる『寮生活のしおり』では高専の寮を「高専教育の目標達成を目的として設置されている教育的意義を支援する場所」と定義し、「学生寮における規則遵守は徹底する必要があり、自宅やひとり暮らしでの生活と比べると制限される事項」が多くあるとも記されています。

同時に「そのような不自由さの反面、（中略）ここでできた友人は、卒業後に社会へ巣立ってからも、互いの心を支えあえる、他の何者にも代えられない一生の財産となります。」とも記されています。

多様性の理解について、その第一歩は多様性、すなわち「様々な価値観やありよう」の存在を認め、受け入れ、尊重することであるとも言われています。寮で生活し一生続き得る友人関係を構築することもまさに同じです。自分とは異なる家庭、地域、環境で育った友人の信念（習慣、好き嫌い）をお互いが認め、受け入れ、尊重することができれば、それは理想的な人間関係の第一歩になります。

「同じ釜の飯」を食べた者の絆は思ったより強いです。困難も多いと思いますが、助け合い、教え合いながら有意義な寮生活を送っていけることを願い、我々は支援を惜しみません。

受け身ではなく、積極的なアクションを！

研究主事（熊本キャンパス）　清田　公保

新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。入試の難関を見事に乗りこえて本校へ入学されました皆さんに対して、あらためて敬意を表します。

この高専だよりが発刊される頃は、高専生活にもようやく慣れてきたことと思います。長かった新型コロナウイルス対策による行動制限も解除されてようやく終息に向かいつつあります。

熊本高専では、これまで海外の学校と連携したグローバル活動や未来技術者人財育成事業、半導体人材育成事業（GEAR5.0/COMPASS5.0）をはじめとして、今年度からスタートアップ育成事業（アントレプレナーシップ）など、学生の皆さんがチャレンジングな取り組みが実現できるプログラムが展開されています。SDGs や Society5.0 など新聞やニュースで聞いたことがあると思います。熊本高専では、地域や社会に貢献できる技術者として活躍できるようなカリキュラムとグローバルな教育環境を用意しています。学校だけの活動で留まるのではなく、地元の社会福祉協議会や地域の学校と連携した様々な社会貢献活動にも１年生から課外活動として参加できるようになっています。

学校や学生会からの活動参加の呼びかけに注視して、新入学生の皆さんの低学年からの積極的な行動を期待しています。

高専生活が楽しい～初めての学校行事～

機械知能システム工学科１年　池田　竜将

熊本高専八代キャンパスに入学してから月日の流れが速く感じます。それは高専生活がとても充実しているからと言えるでしょう。始めは不安や怖さが少なからずありましたが、今は毎日が新鮮でとても楽しいです。

初めての学校行事は球技大会でした。自分はバスケットボールにしました。予選を通過することはできましたが、決勝リーグで専攻科にあたってしまい４点差で負けました。とても悔しかったので、秋の高専祭のときにある球技大会では、リベンジができたらいいなと思っています。バスケットボールは１AC が優勝したのでとても驚きましたが、自分たちもそれに続いて１年旋風を起こせるように頑張っていきたいです。

勉強や部活、課題などと、趣味などを両立できるように時間の使い方や効率を考えながら、高専生活を楽しんでいきたいです。

高専に入学してから

人間情報システム工学科（１年１組）　田中　みわ子

高専に入学してから約１か月が経ち、高専生活にも慣れてきました。クラスマッチや研修もありクラスの仲も最初より深まり、話せる人が増えました。ただ、中学生の頃と比べて人の名前と顔を覚えるのが遅くなったなと感じました。１か月経つのでもうすぐ全員の名前と顔が一致するはずです。また、部活動ではいい先輩方に恵まれ楽しく活動することができています。

勉強については中学とは違い難しいと感じることもあります。特に専門科目には難しいところがありますが今のところは楽しく学べています。わからなくても自分で復習をしたり、友人に教えてもらったりすれば大丈夫だと思います。とりあえず私の目標は定期テストで赤点をとらずにちゃんと進級することです。そのために SNS はほどほどにしようと思います。

まだ少し不安もありますが、５年間の高専生活を楽しみながら頑張っていこうと思います。

高専に入学して

建築社会デザイン工学科１年　今 村　莉 子

私が熊本高専に入学して良かったことは２つあります。

一つ目は、高校では体験できないことが高専では体験できることです。例えば、19 歳や 20 歳の方々と校内で交流できることです。先日開かれたわくわくサイエンスでは、4、5 年生と協力しながら楽しく活動することができました。また、球技大会では、ライバルとして交流することができました。これらは、高専生の特権だと思います。

二つ目は、私の将来の夢である建築士になるための学習が充実しているところです。1年生のうちから、建築構法、製図、概論などの専門的なことを専門の先生方から学ぶことができます。専門の先生方の授業はとても分かりやすく、毎回の授業がとても楽しいです。これらの授業をきちんと受けて建築士になるために努力したいです。

今後は、高専生という誇りと自覚をもって勉学に励み、自立した生活を送っていきたいと思います。

「不安」を「期待」に変える高専

人間情報システム工学科（1 年 2 組）　戸 上　悠 海

高専に入学して、早くも数ヶ月が経ちました。入学した時のことを振り返ると、そこには不安で満ちた私がいました。

先生が厳しかったらどうしよう、友達はできるのか、勉強はついていけるのだろうか……。

今考えれば、それは杞憂でした。先生方は優しく接してくれ、質問にも真摯に答えて頂けるので、勉強の理解が深まります。クラスメイトとは共通する趣味が多く、すぐに友達が出来ました。趣味が先輩との関係を繋いだのも高専らしいなと思います。

勉強は専門的な教科も加わり、確かに難しいですが、クラスメイトもいるのでお互いに理解を深められます。これから更に難しくなると聞いていますが、その時はその時で考えましょう。今は今を楽しむ時です。

これからの５年間に及ぶ刺激的な学生生活に、私は期待と興奮で心を躍らせています。その火が尽きぬように、日々を大切に過ごしていきます。

熊本高専に入学して

生物化学システム工学科１年　岩谷　奏慈郎

熊本高専に入学してすでに２ヶ月弱が過ぎた。今までの学校が楽しくなかったからか、まだ１ヶ月しかたっていないように感じる。熊本高専に入学して何が良かったか、何がいま楽しいと感じているかというと、一番はやはり「人が愉快だ」ということである。性格には難がある私でもなじめていると感じるが、それは拒絶されないからではないだろうか。「何々をしているからこいつは気に食わない」という思考が皆にあまりないのだと思う。確かに千差万別の趣味や性格の持ち主がいる教室だが、全員自分のやりたいことを楽しめているように感じる。先輩とのつながりもとても楽しいと感じる。上級生は最初怖いと感じるかもしれないが、親密に優しく接してくれる先輩とも出会うことができた。周りの環境、自身の成長や趣味など非常に自分に合っていて、過ごしやすいなと感じている。今、心より「熊本高専に入学して良かった」と思う。

理想を超えた場所

制御情報システム工学科（１年３組）　髙木　陽仁

この文章の依頼を受けた時、ちょうど１年前に「高専だより」を見ていたことを思い出しました。その頃から、ここ熊本高専は私にとって理想の場所で、進学するために日々励んでいました。今、自分が熊本高専の学生であると思うと、改めて嬉しく思います。

いざ入学してみると、ここはあの頃の私の理想を超える、いわば天国でした。入学初日からたくさんの個性豊かな友達に恵まれ、校則や空き時間などの面でとてつもなく自由な校風、専門科目やより高度になった理系科目などの今までと異なる授業、入学してすぐにある対面式やクラスマッチ、研修旅行など、溢れるほどにたくさんの楽しいイベントまで…。毎日が全く新しい生活に、私は常に口角が上がりっぱなしです。本当に入学できてよかったなと思うと同時に、これまで支えてきてくださった人々に、日々とても感謝しています。

一方で、進学してから一挙に与えられたたくさんの「自由」をうまく使いこなせず、以前より少し堕落してしまっているところもあると思っています。今一度、たくさん与えられている「自由」の意味と適切な使い方を考え、今後も最高のキャンパスライフを送りたいと思います。

専攻科に入学して

生産システム工学専攻 1年　松 原　爽 太

専攻科に入学して既に２ヶ月が経過しました。本科とは違い、選択科目が増えたり、教室が無く授業ごとに教室を移動しなければならなかったりしたため、入学してすぐは慣れないことばかりでした。

専攻科での生活はたったの２年間しかないため、就職までの猶予はほとんどありません。しかし、将来自分がどのような職につきたいか私はまだ全くイメージができていません。そこで、専攻科１年の間にどこでどのような仕事がしたいかというイメージを完全に定めたいと思っています。そのために、受講している授業の単位を取得することは勿論のこと、機械系や電気系、プログラミング等の様々な授業を通して自分がどういった業種の職業につきたいかを考えて行こうと思います。また、様々な企業のインターンシップに参加したいとも考えています。実際に働く環境を知ることや、働いている人の話を直接聞くことでしか得られないことが沢山あると思います。そのため、積極的にインターンシップに参加するだけでなく、インターンシップ先の企業では、沢山の人とコミュニケーションをとり、真の情報を得たいと考えています。

自分が本当に働きたいと思える職が見つかった時に、もっと頑張っておけばよかったと後悔しないようにするため、専攻科では常に就職を見据えて行動していきます。

専攻科に入学して

電子情報システム工学専攻１年　堤　哲 之 介

この春、私は制御情報システム工学科を卒業し、専攻科に進学をしました。専攻科では、学生の主体性がより重視され、グループ活動や地元企業と連携したプロジェクトがよく行われています。私は、専攻科に在籍する２年間で、特に三つのことに積極的に取り組みたいと考えています。

一つ目は、本科５年生から取り組んでいる研究です。私の研究テーマは、重度障害を持っている方のサポートをするAT(Assistive Technology)システムの開発です。研究室と実環境の乖離に悩まされることもありますが、ユーザの方に「ありがとう」と言っていただけるシステムを目指して開発を進めていきます。二つ目は、ロボコン部での活動です。今年度はコーチとなり、高専ロボコンに出場する現役生を組織運営や技術面でサポートしながら、廃炉創造ロボコンには選手として出場する予定です。自由にロボット開発を行うことができる貴重な機会を大切にしたいと考えています。三つ目は、進学に向けた取り組みです。私は専攻科修了後、大学院に進学してロボット制御に関する研究を行いたいと考えています。早いうちから様々な研究室を訪問し、自分の将来について熟考したいと考えています。

現在、新型コロナウイルスが感染症法上の５類感染症となり、様々な規制が解除されてきています。必要に応じて感染対策を行いながら、積極的に様々な人と交流し、この専攻科での２年間で技術者として大きく成長したいと思います。

新入生から

熊本高専に入学して

生物化学システム工学科 3年　コンチ　フースヤン

皆さん、はじめまして。私は、コンチ フースヤンと申します。ラオスから参りました。私は 2022 年に来日して、東京日本語教育センターで 1 年間、日本語を学びました。今年から八代キャンパスで生物や化学、プログラミングを勉強しています。

私の日本語はまだまだなので、友達と話せるのか、多くの人々とコミュニケーションが取れるのか不安でした。しかし、先生や支援の方、そして、友達の雰囲気はとても素敵で安心して学んでいます。日本での生活が長くなるにつれて、日本での丁寧な振舞いが私の日常になってきました。 日本の生活に深に触れて、私自身の成長を感じています。私は多くの人々と出会って、日本の文化と習慣をたくさん知り、毎日をとても楽しんでいます。今までの経験に加えて、今後も新たなことにたくさんチャレンジしたいと思います。

熊本高専に入学して

情報通信エレクトロニクス工学科 3年　ジェン　ダーリーニ

4 月にマレーシアから、熊本高専に入学しました。最初は熊本高専のことを全然知らなくて、ちょっと不安に感じました。でも、助けてくれる先生方や友達のおかげで、ここでの 1 ヶ月を安心して過ごせるようになりました。友達がいろいろなことを教えてくれて、本当に感謝しています。寮での生活は快適で便利です。最初は、ここで新しい友人を作るのが難しいと感じましたが、学校行事や寮のイベントが多かったため、徐々に他の学生との関係を深めていくことができました。みんなが私に親切で、いつでも助けてくれます。まだ 1 ヶ月しか経っていないので、まだまだ知らないことがあると思います。その時は、誰か教えてくださいね。時間が経つにつれて、寮生活や高専の生活に慣れていくと思います。これからも新しいことを経験するのを楽しみにしています。

熊本高専に編入学して

制御情報システム工学科 4 年　本 並　祐 真

私は今年、熊本工業高校から熊本高専へ編入学しました。私がここへ編入をした理由は、高校で習った以上に専門への学びを深め、将来自動車の開発部門の職に就きたいと思っていることと、中学校の時は受験に失敗したので、そのリベンジをしたかったからです。

編入学した初めは、高校とは雰囲気が大きく違っていたため、正直落ち着けませんでした。また、学習内容も高校の時よりもずっと難しく、レポートや課題もパソコン等を駆使して電子ファイルで提出しなければならず、すごく大変でした。今はその生活にも慣れ、新しく出来た友人に助けてもらいながら、レポートの作成や、授業で分からないところの相談にのってもらい勉強を頑張っています。高専生活、沢山悩んで、友達と協力して、全力で楽しみたいと思います。

学生会より

熊本キャンパス学生会 会長　濱﨑　勝巳

新入生の皆さん入学おめでとうございます。熊本キャンパスで学生会長を務めております、情報通信エレクトロニクス工学科の濱﨑勝巳と申します。学生会一同皆さんの入学を心待ちにしていました。自分のやりたいことを見つけて、とことん突き詰めていってください。気になったことは何でもやってみましょう。あなたの人生の糧となるでしょう。

先日のクラスマッチは楽しんでいただけたでしょうか？皆さんの活躍を見てとても心強く感じました。今年度も学生会は皆さんが楽しめるようなイベントを行ってまいります。学生会では年間２回のクラスマッチ、季節ごとのイベントを企画しています。直近では、七夕イベントを企画していますので、願い事を考えて思いを馳せていてください。あなたの願いが叶うかも…

入学後数ヶ月が経ち、授業や高専での生活に慣れてきた頃だと思います。経験上これからが大切な時期ですので、学校生活を楽しみながら頑張ってください！

ハロー　１年生

八代キャンパス学生会 会長　古庄　寿行

新学期のチャイムが鳴り、あくびをすればもうテスト期間。時間の流れる速さに驚きを隠せません。ふと、教室から外を覗けば、１年生が元気よく戯れる姿が目に映ります。僕も元気じゃ負けないぞ！

今年はコロナウイルスの勢いが落ち着きを見せ、例年以上に熱気のある球技大会を行うことができました。学内でもマスクを外す学生が増え、皆さんの明るい表情と甘いマスクがとても眩しい今日この頃です。

さて、学生会では１日でも早く１年生に打ち解けてもらいたいと考え、対面式や新入生研修の際にレクリエーションを行ってきました。まだどこか硬い一面も見えますが、新入生のハツラツとした笑顔を見ることができてうれしいです。学科そして学年の垣根を超えた学生間の交流が深まるように、これから様々な取り組みに尽力していきます。

挨拶が遅くなってしまいましたが、これから１年間よろしくお願いします。

ようこそ明和寮へ

熊本キャンパス明和寮 寮長　大塚　天斗

新入生のみなさん、ご入学おめでとうございます。特に新入寮生のみなさんは初めての親元を離れての生活で不安もあったと思います。私が明和寮に入寮した４年前、親の有り難みを改めて感じたのを今でも覚えています。明和寮での自律生活を自分が成長する糧にしていただけたらと思います。

一つだけ伝えたいことがあります。「人との繋がり」を大事にしてください。何事にも代え難い財産です。先輩、友達、いずれできる後輩。彼らと、本当に困ったとき・辛くなったときに手を差し伸べ、支え合える、そんな関係を作ってください。何よりも大切なものになるかと思います。

さて、今年度明和寮では５月に数年ぶりの「新入生歓迎イベントバレー＆BBQ」を行うことが出来ました。多くの寮生に楽しんでいただき嬉しく思います。今後のイベントもお楽しみに！

最後に、新入寮生の新たな生活の始まりを祝し、明和寮寮生会を代表して歓迎の言葉とさせていただきます。ようこそ明和寮へ。

新入生を迎えて

八代キャンパス八龍寮 寮長　宮﨑　恵太

新入生・在校生の皆様、ご入学・ご進級おめでとうございます。１年生の皆様、新しい環境での生活はいかがでしょうか。私は、不安と期待を持って入寮されている姿を見て、微笑ましく思いながら受付をしておりました。今年は、寮の改修工事によりご不便をおかけしています。しかしながら、皆様が楽しく生活されている様子を拝見でき、大変嬉しく思います。

さて、今年度の行事をご紹介します。まず、６月17日に寮生球技大会を開催します。学年や学科関係なく、寮で一緒に暮らす仲間とチームになり、優勝を目指して交流を深めましょう。また、寮生総会や部屋替えなど、皆様にとって大切な行事が盛り沢山です。

私は、皆様が快適に過ごせるよう、運営に努めてまいります。何か困った事や相談事があれば、いつでも寮役員にお気軽にご相談ください。皆様のご活躍を心よりお祈り申し上げます。

熊本高専ファーストペンギンズプロジェクト

校長　髙松　洋

今、日本では低下する日本の国際競争力の回復の鍵としてアントレプレナーシップ教育への期待が非常に高まっています。アントレプレナーとは「起業家」という意味で使われますので、「起業家教育」と狭義の意味で捉える方もおられると思います。もちろん、実際に起業するためには様々な能力やノウハウが必要です。しかし、最も重要なのはリスクを恐れずゼロから事業を起こす気概や新しいことにチャレンジし、イノベーションを起こしたいというマインドを醸成する「アントレプレナーマインドセット」です。私が 2015 年に視察に行った全米工学教育協会の年会では、アントレプレナーシップ教育に関する発表が盛んに行われていました。シリコンバレーを有しアントレプレナーが大勢いる米国で、多数の教育例の発表があっていることに実は驚き、日本での教育の必要性を感じたのでした。それらの発表の中で最も重要だと強調されていたのは「アントレプレナーマインドセット」でした。

幸いにも昨年度末の第 2 次補正予算で、高専のアントレプレナー教育環境整備を行うための予算が計上されました。私どもはせっかく認めていただいた貴重な予算を本校での教育にできるだけ有効に使わせていただこうと考えています。そのため、「熊本高専ファーストペンギンズプロジェクト」と名付けた取り組みを開始しました。ファーストペンギンとは餌を求めて危険な海に最初に飛び込むペンギンのことです。1 人でも多くの学生にチャレンジ精神を持ってもらいたいという思いを込めて名付けました。

具体的にはハード面とソフト面の両方で取り組みを行います。ハード面としては、令和 5 年度中にファクトリー（工房）、カンファレンスルーム、コワーキングスペースを両キャンパスにそれぞれ設置します。このうちのコワーキングスペースは、学生の皆さんが学生同士、あるいは先生方、企業や地域の方など外部の方と自由にディスカッションする場であり、外部に開かれた場所であると同時にアイデアを創出する場ですので、最も重要な場所だと位置づけています。入っただけでワクワクするような部屋にしたいと考え、学生の皆さんの意見も取り入れて計画しています。最も重要なソフト面、すなわち教育についても、外部のアントレプレナー教育の専門家の意見も伺いながら、カリキュラム内の科目と課外の活動の両方でどのように行っていくか検討を開始しています。

「ファーストペンギン」はその言葉だけで意味が分かる象徴です。そのイメージキャラクターを学生・教職員の皆さんに募集し、51 件の応募作品の中から選考委員会で選ばせていただいたものをご紹介いたします。「ファーストペンギンのように」が熊本高専の合言葉になり、このイメージキャラクターを見ただけでみんなが勇気をもって進んでいけるようになることを夢見ています。まだ、今は様々な面で構想段階ですが、1 年後には形ができ、いろんな活動が軌道に乗り始めていることを願っています。

皆様、乞うご期待です。

人事異動

熊本高専“一年生”の一人として

管理課長　國宗　久資

本年４月１日付で、管理課長（財務・施設を担当します）として着任しました。これまで文部科学省や九州・山口の国立大学で主に会計系の業務に携わってきましたが、高専は初めてです。両キャンパスに跨っての業務になりますので、電車通勤しながら熊本での初生活を楽しみたいと思います。

私が高専を初めて知ったのは、小学生の頃、親戚が工業高校を卒業して、ここでもっと学びたいと編入した時です。一方、技術が大の苦手だった私が、ロボコンで見ていた高専に携わることになるとは、人生は分からないものです。

財務の話になりますが、国立大学の財務環境を巡っては、国から配分される資金において、学生の就学支援の充実が図られる一方、管理的経費が縮減されたり、競争による資金獲得部分のウエートが高まっています。また、自己収入の増加等の自助努力も求められています。高専は大学とは事情が若干異なりますが、直面する課題には共通するものがあると感じます。さらに、昨今の国際情勢等による光熱費や原材料費等の高騰が続く中、限りある財源をどう配分していくか、模索が続きます。

熊本にまさに今熱い視線が注がれている折にご縁をいただき、私も「熊本高専一年生」になりました。学生・保護者の皆様との関わりは間接的にはなりますが、自らも学びつつ熊本高専のミッションの実現に向けた環境整備に微力ながら専心してまいります。どうぞよろしくお願いいたします。

熊本高専に着任して

学生課長　江島　美穂

４月１日付けで学生課長として着任しました江島と申します。どうぞよろしくお願いいたします。熊本キャンパスでの勤務は初めてですが、熊本高専は大変懐かしい思い出の場所であり、私は八代キャンパス（当時：八代高専・生物工学科）の技術系職員として採用され、社会人としての第一歩を踏み出しました。当時、学生から急に「先生」と呼ばれる立場になり、学生さんにどう接したら良いのか戸惑うこともありましたが、私の声が小さくて聞こえないようであれば、大きな声の学生が言い直してくれたり、実習中に「～してくださいね。」と言っていたら、「～せんね。～しろ。って言わないと言うこと聞かんですよ。」と学生さんたちが頼りない私を随分フォローしてくれました。八代での 14 年間の技術職員としての経験は事務系職員に代わってからも有益なものとなっています。平成 18 年に家庭の事情で、事務系職員に代わり、同時に有明高専へ異動しました。将来的には留学生関係の業務をやってみたいという希望があり、その後、熊本大学へ移籍させていただきました。どの部署に行っても、よく八代高専の校長先生が仰っていた「For the Students」は仕事をする上でいつも心がけて来ました。

学生の皆さんに「熊本高専に入学して良かった。」そう思っていただけるよう学生課の一員として努めてまいりますので、どうぞよろしくお願いいたします。

転入者等一覧

【学外からの異動】

氏　名	所属・職名	前任地	異動日
國宗　久資	管理課長	山口大学財務部財務課長	R5.4.1
江島　美穂	学生課長（熊本C）	熊本大学教育研究支援部人社・教育系事務課副課長	R5.4.1
前田　祥達	管理課課長補佐（八代C）	熊本大学生命科学系事務部医薬保健学系事務課係長	R5.4.1
芝田　典子	総務課主任（研究・社会連携係）（熊本C）	熊本大学教育研究支援部人社・教育系事務課員	R5.4.1
伊東　拓也	管理課主任（管理係）（熊本C）	熊本大学病院事務部医事課員	R5.4.1
山下　顕嗣	管理課主任（施設管理係）（熊本C）	熊本大学施設部施設管理課主任	R5.4.1
亀園　千夏	総務課員（人事労務係）（八代C）	熊本大学病院事務部経理課員	R5.4.1
藤木　希依	総務課員（研究・社会連携係）（熊本C）	熊本大学財務部契約課員（本荘・大江契約チーム）	R5.4.1
辻村　公実	管理課員（契約係）（八代C）	熊本大学教育研究支援部人社・教育系事務課員	R5.4.1
濵田　聡太	学務課員（学務係）（八代C）	熊本大学総務部総務課員	R5.4.1
山内　弥生	学生課員（教務係）（熊本C）	熊本大学教育研究支援部情報企画課	R5.4.1

【キャンパス間異動】

氏　名	所属・職名	前任地	異動日
前田　　巌	管理課契約係長（八代C）	管理課管理係長（熊本C）	R5.4.1
小野川勇二	管理課管理係長（熊本C）	学務課学務係長（八代C）	R5.4.1
小﨑美恵子	学務課学術情報係長（八代C）	学生課教務係長（熊本C）	R5.4.1
井上　真奈	総務課員（熊本C）	総務課員（総務係）（八代C）	R5.4.1

【新規採用】　（※非常勤職員については、週 20 時間以上勤務の者のみ掲載）

氏　名	所属・職名	異動日
田中　勇気	管理課員（財務係）（八代C）	R5.3.16
下川未来吏	総務課員（総務係）（八代C）	R5.4.1
堀口　智子	学務課事務補佐員（学術情報係）（八代C）	R5.4.1
舩木　奈緒	学務課事務補佐員（学術情報係）（八代C）	R5.4.1
大柿　祐子	学務課事務補佐員（寮務係）（八代C）	R5.4.1

2023年度を迎えて

情報セキュリティセンター センター長　藤 本　洋 一

みなさん、新年度が始まり、しばらく経ちましたがいかがでしょう?

さて、情報セキュリティセンターでは遠隔授業も含め、コンピュータやネットワークについての支援を行っています。Teams の使い方や WebClass の使い方、ノート PC の使い方や設定方法などです。質問があれば遠慮なく質問してください。質問にはメールや Teams のメッセージ・チャットなどを利用してもよいです。最近の情報関係ニュースの代表のひとつは ChatGPT などの AI かと思います。AI (Artificial Intelligence 人工知能) は、コンピュータに人間のような知的行動を行わせることを目指して研究されている技術です。古くから研究されているものですが、ディープラーニング技術などで急激に進化をはじめています。ざっくり言うと最近の AI は、学習した内容に応じて数値処理による確率・統計の計算結果でそれらしい回答を導き出すというものです。人間のように様々なことを考慮したりはしていません。よって、間違った答えも正しい答えの様に出します。より適切な答えは何か、使用する人間が判断する必要があります。AI は便利な道具として役に立ちますが、人間がより勉強をすることになるということを意識しておいてください。

コンピュータやネットワークなどのシステムは日進月歩で進化しています。自分で気にしながら、使用するための勘を身に着けていきましょう。

国際交流

グローバルリーダーシップ育成センター副センター長　井 山　裕 文

今年度より八代キャンパスにて副センター長を務めています。早速、留学生支援事業から業務を進めており、並行して学生、教職員の国際交流活動の支援や本校と交流協定を締結している海外の教育機関との交流事業を進めています。新型コロナも国内でも 5 月より第 5 類に分類されるようになり、ここ 3 年ほど通常の時期に入学できなかった新留学生も 4 月より入学し、本校で日々楽しく学校生活をおくっているところです。コロナ禍では、国際交流活動が非常に困難となっていたのですが、通常どおりの活動ができるようになった途端にその反動からか、国際交流活動がより活発になってきました。昨年度は本校で開催された、タイ高専教職員のための研修会での対応やマレーシアの技術教育専門学校である ADTEC Melaka 校の教員研修においては、多くの先生方にご尽力、ご協力いただき、無事に終了いたしました。参加された方々も熱心に取り組まれ、大好評でした。ご協力いただいた教職員の皆様、TA を務めた留学生、専攻科生には大変感謝しております。

将来エンジニアになる学生の皆さんには総合的に学んでほしいと思います。地元地域で働くにしても世界情勢や各国でのエンジニアに必要な知識や文化に触れ、本校で学んだ事も含めて総合的に自身の考えを持って、判断して、行動できる人物になってほしいと思います。ちょうど、今、ERASMUS +による学術的交流活動でクロアチア共和国スプリット大学にて 10 日間の研修中です。また新たな知識を得ることができ、将来、本校の教育活動の発展に繋がるものとなります。ぜひ、学生の皆さんにも同様の体験を得て知識を広げて欲しいと考えております。以上、クロアチア共和国スプリットからでした。

地域協働とリベラルアーツ教育

地域協働プロジェクトセンター 副センター長　若杉　玲子

新入生の皆さん、熊本高専での生活には慣れてきましたでしょうか。今は授業等に没頭していることと思います。地域協働プロジェクトセンターでは、そのような授業の中で、地域企業や行政等との協働教育の機会を提供しています。

さて、この熊本高専では、リベラルアーツ教育がカリキュラムとして設定されていることも大きな特徴です。リベラルアーツ関連科目は、答えが与えられていない問いに対して、新たな解を探求する力を育成するものです。これらの授業の中で、これまでも多くの地域企業や行政等と協働で学習してきました。例えば、昨年度の八代キャンパスでのリベラルアーツ実践Ⅲ（４年生）においては、地元企業からの要望により「ロボットハンドの設計・開発」に取り組み、プロトタイプの作成・評価まで実施し、企業に報告しております。このような地域企業や行政等からの依頼では、依頼者の「要望」を聞き、理解し、解決する能力「エンジニアリングデザイン能力」が重要となりますが、本センターではその際の仲介や手助けも行っています。引き続き、そのような協働教育・共同研究の機会を提供していきます。

更に、本校では「ファーストペンギンズプロジェクト」（本号特集ページ参照）が始動しております。このプロジェクトの始動に合わせ、地域協働プロジェクトセンターでも学生・教職員のアントレプレナーシップの向上の一助となるように、一層活動の幅を広げていきます。

技術・教育支援センターより

技術・教育支援センター 副センター長　西　雅俊

技術・教育支援センターは両キャンパスに設置されており、それぞれのキャンパスには、学科の学修内容に特化したスキルを有する技術職員で構成されています。活動内容は、高専教育の柱の一つである、各科カリキュラムにおける実験・実習支援を中心に、卒業研究や地域協働プロジェクトなどで使用する機器・装置の製作支援、学内のネットワーク管理に関する支援等幅広い支援を行っています。

自己紹介が遅くなりましたが、本年４月より当センターの副センター長に就任しました機械知能システム工学科の西です。よろしくお願いいたします。なお、写真は、本校所有のレーザー加工機で金属板を加工して作った、３D パズルのカブトムシです。私が所属する八代キャンパスでは、機械加工技術系、建築技術系、生物化学系、IT 系、電子基礎系のスタッフで構成されています。上述の教育・研究への技術サポートだけでなく、科学技術教育支援室主催のおもしろサイエンス・わくわく実験講座への出展、オープンキャンパスでの機械加工体験会の開催、ロボットコンテストやデザインコンテスト等の技術サポート、海外の大学・専門学校の教職員を対象とした研修の一環として実施する CAD/CAM 講座の技術サポートなどの活動をしています。

今後も種々の活動を通じて、技術を生かした教育・研究等のサポートを充実させたいと考えております。よろしくお願いいたします。

学生支援室から

熊本キャンパス 学生支援室長　髙木　朝子

新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。また、２年生以上の皆さんも、新年度が始まり、前年度に楽しんだこと、苦労したこと、いろいろあったと思いますがまた心新たに新しい１年を歩み出していることと思います。

学生支援室は、その部屋がどこかにある訳ではありませんが、心の健康も体の健康も相互に関係していることから、保健室に窓口があります。ちょっときついな、教室に入るのが億劫だなと感じた時、学校内で行く場所はあまりないですよね。そんな時は保健室に来てください。保健室の中西先生、水野先生が皆さんの話し相手になってくれます。静かにクールダウンしたい時も、静かにできる部屋が用意されています。きつさが少しでも楽になるかもしれません。私もきついなと感じた時は、お二人に会いに行って癒されていますよ。

１年生から専攻科２年生まで、皆さんが心身ともに元気に１年を過ごせるように、少しでもお手伝いできれば嬉しく思います。

目を大切にしよう

八代キャンパス 看護師　山下　智子

私達は身のまわりの情報の約 80％を目から得ています。黒板やノートの文字、向こうから歩いてくる人の姿など目を通して認識していることがたくさんあります。普段は無意識にものを見ている目を、休ませてあげましょう。

目に負担がかかっているとき

- **勉強中**　部屋や手元が暗かったり、姿勢が悪いと目に負担がかかります。部屋の照明や自分の勉強机、姿勢を見直しましょう。
- **スマホやパソコンなどの画面を見ている時**　長時間画面に見入るとまばたきが減り、ドライアイにつながります。スマホは30㎝以上、パソコンは40㎝以上画面から離れましょう。寝転ぶと画面と目の距離が近づきがちです。明るい部屋で良い姿勢を保ちましょう。

目が疲れたら

１時間くらいパソコンなど目を使い続けることをしたら、１０分間程度の休憩を取りましょう。

- 5分目をつむるだけでも目の表面が潤い、栄養や酸素の循環がよくなります。
- 遠くを見ることで手元ばかり見ていた目の筋肉の緊張をほぐすことができます。
- 普段はまっすぐ前ばかり見ているので、休憩時には眼球を上下左右に動かしたり、黒目を回転させたりして、筋肉を色々な方向に動かしましょう。
- 熱めのお湯でぬらしたタオルをよく絞り、目の上に乗せると血行が良くなり疲れが取れます。

「新・閃きイノベーション 2023」の発表会を実施しました。

「新・閃きイノベーション」は、平成 22 年から行ってきた「閃きイノベーション」を発展させた、「教育」＋「地域」＋「研究」の総合的な実践プログラムの一つで、平成 29 年度から実施しています。従来のプログラムは、企業のもつ技術や特長を生かして新製品の提案を行うアイディアコンテストの形式でしたが、一歩進めて、企業で実際に問題になっている現実の課題の中から本校の学生が解決できるものを選び、授業の一環として解決法を考えプロトタイプの作製やシミュレーションを実際に行い、その結果を報告するという「社会実装型」に展開しています。

今回の発表会は、昨年度同様、熊本キャンパス・八代キャンパスとオンライン参加者を Web 会議システムで接続したハイブリッド形式で実施し、出題企業 5 社・1 団体をはじめ、（一社）熊本県工業連合会会員企業、本校学生・教職員など約 90 名が参加しました。八代キャンパスから機械知能システム工学科・建築社会デザイン工学科・生物化学システム工学科・生産システム工学専攻、熊本キャンパスから情報通信エレクトロニクス工学科・電子情報システム工学専攻の学生ら 8 グループがそれぞれ下記の課題について発表し、提案されたアイディアに対して活発な意見交換が行われました。

おもしろサイエンスわくわく実験講座 2023 を開催しました。

令和 5 年 5 月 20 日㈯、八代キャンパスにて「おもしろサイエンスわくわく実験講座 2023」を開催しました。今回は 29 のブースを設け、午前の部または午後の部の予約制とし参加者に自由にブースを回ってもらいました。八代キャンパスの約 150 名の学生ボランティアと教職員に加え、本校熊本キャンパス、有明高専や外部の協力団体（八代市小学校理科部会・宮嶋利治財団・長岡技術科学大学『TE × DI』）にもご協力いただきました。おかげさまで、当日は 146 組 254 名のお子様の参加があり、大盛況となりました。

参加者からは「学生らしいイベントで、一生懸命さが伝わって来た。子供にも丁寧に接してくれた事が嬉しく思いました。」「作るのが楽しそうだった。家に帰った後も楽しそうに遊んでいて良かった。」などの感想をいただきました。

ドコモ及び NTT Com と子どもの成長機会創出に関する協定を締結しました。

令和 5 年 6 月 6 日㈫、熊本高専は株式会社 NTT ドコモ（以下「ドコモ」）、NTT コミュニケーションズ株式会社（以下「NTT Com」）と、ユーザ指向プログラミング教育を通じた子どもの成長機会創出に関する協定（以下「本協定」）を締結しました。本協定は、熊本高専、ドコモ、NTT Com が相互に連携・協力し、児童・生徒のデジタル社会への適応能力の向上のため、プログラミング能力や課題解決能力等の習得について支援し、それらの支援を通じて地域社会の発展に寄与することを目的として締結されました。

熊本高専に関する最新のニュースは、熊本高専の公式 Web サイト https://kumamoto-nct.ac.jp/ をご覧ください。

行事予定 Event Calendar 2023

9月▶3月（令和５年７月現在）

熊本キャンパス

9月

25日(月)	後期授業開始

10月

1日(日)	開校記念日
14日(土)～15日(日)	全国高専プロコン（福井）
15日(日)	高専ロボコン九州沖縄地区大会（熊本）
20日(金)～26日(木)	授業参観、学級懇談会
28日(土)～29日(日)	電波祭

11月

11日(土)～12日(日)	全国高専デザコン（舞鶴）
11日(土)～12日(日)・14日(火)	九州沖縄地区高専体育大会（ラグビーフットボール）
20日(月)～27日(月)	後期中間試験
26日(日)	高専ロボコン全国大会（国技館）

12月

19日(火)	キャリアセミナー
23日(土)～1月8日(月)	冬季休業

1月

17日(水)	特別研究発表会（専攻科）
20日(土)	本科推薦選抜検査（入学試験）
26日(金)～2月1日(木)	後期定期試験
27日(土)～28日(日)	全国高専英語プレコン（オリセン）

2月

11日(日)	本科学力選抜検査（入学試験）
22日(木)	卒業研究発表会
28日(水)～29日(木)	冬季クラスマッチ

3月

2日(土)～31日(日)	学年末休業
23日(土)	卒業式・修了式

八代キャンパス

9月

25日(月)	後期授業開始

10月

1日(日)	開校記念日
14日(土)～15日(日)	全国高専プロコン（福井）
15日(日)	高専ロボコン九州沖縄地区大会（熊本）
27日(金)～30日(月)	高専祭

11月

11日(土)～12日(日)	全国高専デザコン（舞鶴）
11日(土)～12日(日)・14日(火)	九州沖縄地区高専体育大会（ラグビーフットボール）
20日(月)～27日(月)	後期中間試験
26日(日)	高専ロボコン全国大会（国技館）

12月

9日(土)	キャリア研修会
23日(土)～1月8日(月)	冬季休業

1月

20日(土)	本科推薦選抜検査（入学試験）
24日(水)	特別研究発表会（専攻科）
26日(金)～2月1日(木)	後期定期試験
27日(土)～28日(日)	全国高専英語プレコン（オリセン）

2月

11日(日)	本科学力選抜検査（入学試験）
22日(木)	卒業研究発表会

3月

2日(土)～31日(日)	学年末休業
23日(土)	卒業式・修了式

※行事予定については、変更になる可能性もありますので、最新の予定一覧（本校公式Webに掲載）をご確認下さい。

熊本高専だより 2023.SUMMER No.35

【発行】広報戦略室　令和５年８月

編集後記

今年度も多数の新入学生を迎え、今号内でもたくさんの希望に満ちた言葉を投稿してもらっています。

ファーストペンギンズプロジェクトも始動するようですので、興味を持ったことに積極的に挑戦し実力を発揮されることを期待しています。

ご寄稿いただいた皆様ありがとうございました。また編集に携われた職員の方々お世話になりました。

熊本高等専門学校
National Institute of Technology (KOSEN), Kumamoto College

熊本キャンパス
〒861-1102　熊本県合志市須屋2659-2
TEL 096-242-2121

八代キャンパス
〒866-8501　熊本県八代市平山新町2627
TEL 0965-53-1211

https://kumamoto-nct.ac.jp/